

大学国際戦略本部強化事業について

独立行政法人日本学術振興会
大学国際化支援本部 ディレクター
(国際事業部研究協力第一課長)

清浦 隆



World University Rankings

The Times Higher Education Supplement 2006

06 (04)		Overall Score	Peer review (40%)	Recruiter review (10%)	<u>Int'l faculty</u> (5%)	<u>Int'l students</u> (5%)	Faculty/ student (20%)	Citations/ faculty (20%)
1 (1)	Harvard	100.0	93	100	15	25	56	55
2 (3)	Cambridge	96.8	100	79	58	43	64	17
3 (4)	Oxford	92.7	97	76	54	39	61	15
4 (2)	M.I.T.	89.2	81	93	11	39	42	54
4 (7)	Yale	89.2	72	81	45	26	93	24
6 (5)	Stanford	85.4	82	85	9	34	32	55
7 (8)	Cal. Tech.	83.8	53	21	24	40	67	100
8 (6)	UC, Berkeley	80.4	92	75	6	13	22	39
9 (13)	Imperial College	78.6	65	44	55	56	88	12
10 (9)	Princeton	74.2	68	61	21	29	53	34
19 (16)	<u>Tokyo</u>	63.1	72	29	<u>8</u>	<u>10</u>	35	27
29 (31)	<u>Kyoto</u>	56.0	61	20	<u>15</u>	<u>7</u>	44	18

問題認識・背景

その1 第3期科学技術基本計画

「5つの戦略」

1. 「人材」戦略
2. 「基礎研究」戦略
3. 「イノベーション戦略」
4. 「基幹技術」戦略
5. 「**国際**」戦略

国際活動を戦略的に推進。国際環境に的確に対応し、世界の研究者を惹き付ける。

- ・東アジア科学技術コミュニティの構築にむけて主導性を発揮
- ・国際的に魅力ある研究環境を形成
- ・海外の優れた人材の登用、情報発信力の強化

問題認識・背景

その2 大学改革

- ・ 「知」をめぐる世界大競争の時代
- ・ 特色ある個性輝く大学づくり
- ・ 国立大学法人化

問題認識・背景

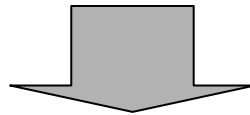
その3 諸外国の大学のグローバル化はさらに加速

- ・教育・研究のボーダーレス化の加速
 - ボローニャプロセス(EU)
- ・人材の獲得競争
 - 各国のアジアに対する戦略
 - 呼び寄せ、呼び戻し政策
- ・資金の獲得競争
 - ファンディングのグローバル化
- ・地球規模問題に対応する教育・研究の重要性

問題認識・背景

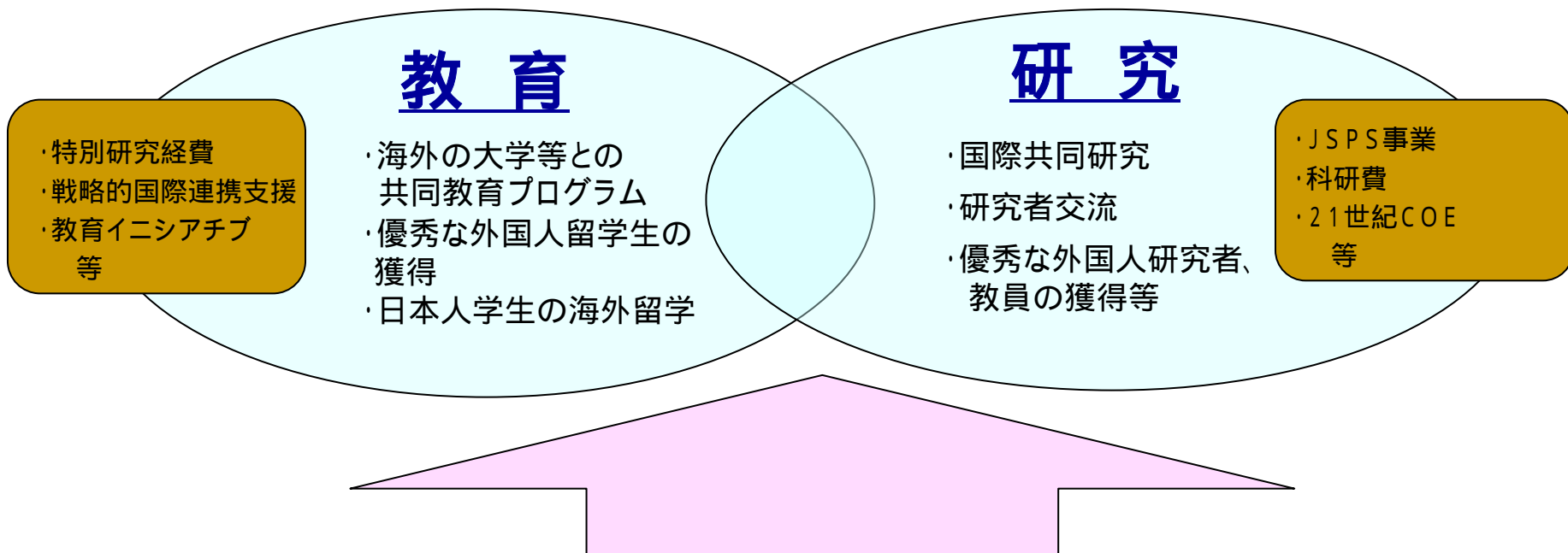
その4 大学等の国際活動は、研究者個人の活動に依存

- ・外国人研究者の受入れ諸業務を受入れ研究者が負担
例) 入国手続、宿舎探し 等
- ・組織的・戦略的取組みに至らない国際活動
例) 協定の形骸化 等
- ・大学における外国人教員の割合の少なさ: 3.5%
- ・事務職員の語学力や国際活動マネジメント養成不足



大学全体としての明確な指針に基づく、
組織的な特色のある国際活動の推進

大学の教育研究の国際展開の推進、国際競争力の強化



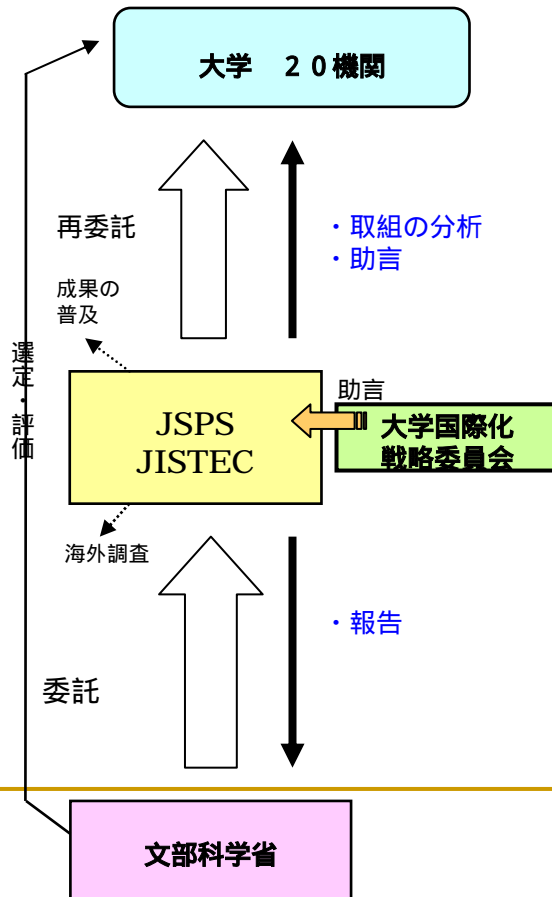
学長の下、全学横断的な組織体制を整備し、全学的な国際活動を推進

- (例) ・「国際戦略本部」の設置、企画・実施体制の強化
- ・外国人研究者・留学生等の研究教育・生活環境面での組織的な支援体制強化
 - ・国際展開に対応する大学教員・職員の養成・確保
 - ・情報の収集・発信、ネットワーク構築 等

国際戦略本部

大学国際戦略本部強化事業のスキーム

- ・平成17年度 文部科学省 新規事業(予算額 5億円)
- ・日本学術振興会(JSPS)及び社団法人科学技術国際交流センター(JISTEC)が共同受託
- ・選定された大学へJSPS / JISTECが再委託(1校あたり年間1~4千万円程度)
- ・平成17年度~平成21年度 5年間



【選定大学(20機関)】

- ・「国際戦略本部」機能の強化による全学的な国際活動を推進

【JSPS / JISTEC】

- ・大学国際化戦略のモデルを開発(取組の分析、好事例の抽出)
- ・選定大学の取組への助言
- ・成果の普及

【大学国際化戦略委員会】

- ・事業全般についての助言

【文部科学省】

- ・審査選考
- ・中間評価、事後評価

大学国際戦略本部強化事業 採択大学等一覧

申請 68 件 採択 20 件

整理番号	区分	大学等名	構想組織名
1	国立	北海道大学	「持続可能な開発」戦略本部
2	国立	東北大学	グローバルオペレーションセンター
3	国立	東京大学	東京大学国際連携本部
4	国立	東京外国語大学	国際戦略本部
5	国立	東京工業大学	東京工業大学国際戦略本部
6	国立	一橋大学	国際戦略企画部会 (国際戦略本部へ改組)
7	国立	新潟大学	国際学術サポートオフィス
8	国立	名古屋大学	国際交流協力推進本部
9	国立	京都大学	京都大学国際交流推進機構
10	国立	大阪大学	国際交流推進本部

整理番号	区分	大学等名	構想組織名
11	国立	神戸大学	国際交流推進本部
12	国立	鳥取大学	国際戦略企画推進本部
13	国立	広島大学	国際戦略本部
14	国立	九州大学	国際交流推進機構
15	国立	長崎大学	長崎大学国際連携研究戦略本部
16	公立	会津大学	コンピュータ理工学基盤研究国際戦略本部
17	私立	慶應義塾大学	国際連携推進機構
18	私立	東海大学 九州東海大学 北海道東海大学	国際戦略本部
19	私立	早稲田大学	国際研究推進本部
20	大学 共同 利用	自然科学研究機構	国際戦略本部・国際連携室

好事例分析の観点

- (1) 組織体制、ガバナンス
- (2) 目標設定、行動計画、評価体制
- (3) 国際的な外部資金の獲得
- (4) 国際的なコンソーシアムの形成又は参加
- (5) 職員の養成・確保
- (6) 外国人研究者等の受入環境の改善
- (7) 日本人学生、研究者の海外留学・派遣機会の充実
- (8) 個別の研究テーマを中核とした国際展開
- (9) 海外拠点の整備

好事例分析の観点

(1) 組織体制、ガバナンス

企画部門と実施部門の連携

本部と部局の分担

教員と職員の一体化(協働)

複数のキャンパス、支部等の連携

(2) 目標設定、行動計画、評価体制

現状・問題点の把握・分析 マスタープラン

アクションプラン 評価

好事例分析の観点

(3) 国際的な外部資金の獲得

戦略として国際的外部資金を獲得

国際活動の充実

国際水準の事務体制の強化

(4) 国際的なコンソーシアムの形成・参加

独自にネットワークを形成

国際活動の基盤づくり

国際水準の事務体制の強化

好事例分析の観点

- (5) 国際関係業務担当職員の養成・確保
専門性・総合性の両面が必要
 - ・研修制度、留学制度
 - ・処遇、キャリアパス
 - ・外部人材の登用
- (6) 外国人研究者等の受入環境の改善
 - ワンストップサービス、情報提供等
 - 宿舎(借り上げ、地方自治体との連携)
 - キャンパスの国際化(内なる国際化)

好事例分析の観点

(7) 日本人学生、研究者の海外留学・派遣機会の充実

- ・ 受入 > 派遣 (送出し) の是正 (数値目標)
- ・ 海外留学プログラムの多様化
- ・ 海外拠点の有効活用

(8) 個別の研究テーマを中核とした展開

- ・ 強い分野に集中投資
ノウハウを水平展開

好事例分析の観点

(9) 海外拠点の整備

大学の国際活動の有機的連携のハブ

- ・機能の明確化

- ・学生・研究者の派遣、職員の研修等への有効活用

(10) その他：危機管理、元/帰国留学生、研究者の組織化

公開シンポジウム

- 大学の国際戦略～「海外拠点」と「職員養成」～
- 日時:11月15日(水) 13:30～
- 場所:政策研究大学院大学内 想海楼ホール
- 海外の事例発表:Nuffic(オランダ高等教育国際協力機構)のアジア展開(拠点)
- 採択校の事例発表
 - 海外拠点:長崎大学、日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター
 - 職員養成:東京大学、神戸大学

中間評価(文部科学省)

- 機能体制の整備状況(国際戦略と戦略本部)
- 計画の達成度(事業計画の進捗)
- 事業効果の大きさ
 - 本事業の実施によるインパクト
 - 国際活動を担当する人材の確保・育成
 - 研究環境の国際化
 - 共同研究の展開と成果
 - 持続的な枠組みの構築
- その他:他大学からの参照可能性、課題の抽出

大学国際戦略本部強化事業 ホームページ

[English](#)
[お問い合わせ](#) [リンク集](#) [サイトマップ](#)

探訳機関 事務担当者の皆様へ
 (おアタセバスタード)

大学の国際化を目指して
 「大学国際戦略本部強化事業」を推進するとともに、
 日本全国の大学の学術的・教育的な国際活動を支援する仕組みです。

お知らせ

- 平成18年7月4日
[NEW!]東北大学の活動情報を追加しました。
- 平成18年7月4日
[NEW!]JSPSストラスブール研究連絡センターからの情報を追加しました。(フランス国民教育・高等教育・研究者の補給改革)
- 平成18年7月4日
[NEW!]JSPSサンフランシスコ研究連絡センターからの情報を追加しました。(大学院生に海外での研究機会を確保:プリンストン大学)
- 平成18年7月19日
[NEW!]JSPSワシントン研究連絡センターからの情報を追加しました。(半導体2007年度大規模予算宣言の概要、PARIT評価結果、NSBによるNSFの2020年までの展望、OSTPとOMBが提出した2008年度半導体研究開発予算の優先事項について)
- 平成18年7月4日
[NEW!]大学国際化のためのお役立ち情報を追加しました。(HOME-aid English/IT教育開発センター)

探訳機関一覧 (各機関の国際戦略本部WEBリンク集)
 北海道大学 | 東北大学 | 東京大学 | 東京外国語大学 | 東京工業大学 | 一橋大学 | 新潟大学 | 名古屋大学 | 京都大学 | 大阪大学 | 神戸大学 | 鳥取大学 | 広島大学 | 九州大学 | 長崎大学 | 金沢大学 | 藤原義塾大学 | 東海大学 | 九州東海大学 | 北海道東海大学 | 早稲田大学 | 自然科学研究機構

> サイトのご利用について > 個人情報保護方針
 Copyright © 2006 MEXT. All rights reserved.

JSPS 国際連携推進委員会
JSPS 大学国際化を支援しています。

JISTEC 国際科学技術国際交流センター

<http://www.u-kokusen.jp/>

若手研究者への国際研鑽機会の充実 (日本学術振興会 平成19年度新規施策)

目的・背景

国際舞台で活躍できる我が国の若手研究者の育成のため、日本人研究者の国際研鑽機会拡充を図る

< 第3期科学技術基本計画 >

「若手研究者やポストドクターの時期から国際経験を積み海外研究者と切磋琢磨できるよう、海外の優れた研究機関での研究機会や海外研究者との交流機会を拡充すべく引き続き施策の充実を図る」

< 19年度資源配分方針 >

「若手研究者の海外での活躍・研鑽機会の拡大」が重要

対応

従来より取り組んできた、海外特別研究員事業及びフロンティア・オブ・サイエンス (FoS) 等の個人対象の「短期集中セミナー型」の事業に加え、新たに、我が国の若手研究者 (大学院生、ポスドク、若手研究者) が海外で活躍・研鑽する機会の充実強化を図るため、日本の大学が海外のパートナー機関 (大学、研究機関、企業等) と組織的に連携し、日本の若手研究者に海外における研究活動の機会の提供を行うことを支援する「若手研究者国際・ナショナル・トレーニング・プログラム (ITP) [仮称]」を創設

より若い世代からの研鑽機会、組織的な送り出しの支援を強化

若手研究者への国際研鑽機会の充実

< 組織型 >

若手研究者国際・ナショナル・トレーニング・プログラム (ITP) (仮称) 【新規】

日本の大学と海外のパートナー機関 (大学、研究機関、企業等) との組織的な連携により、若手研究者に当該機関における研究活動の機会を提供 (1ヶ月~1年)

・機関としての組織的な取組を支援
・大学院生~ポスドクの若手研究者を対象

< 約400人 >

< 短期集中セミナー型 >

- ・FoS (フロンティア・オブ・サイエンス)
(若手研究リーダーの分野横断的集中討議)
- ・日欧先端科学セミナー
- ・アジア学術セミナー
- ・国際サマースクール

海外の若手研究者との集中的な討議の場を提供 (1週間程度)

< 約300人 >

< 個人型 >

海外特別研究員事業

ポスドクレベルの若手研究者を海外へ派遣し、海外の大学や研究機関で長期 (2年間) の武者修行の機会を提供

< 約400人 >

日本学術振興会 JSPS

1000人以上の若手研究者に
海外での研鑽機会を提供

セミナー等を
オーガナ
イズ

個人からの
申請に基づ
き審査

若手研究者国際・ナショナル・トレーニング・プログラム (ITP) の事業スキーム

